



## 会長挨拶

今年は梅雨らしい梅雨の時期もなしにいきなり6月中に梅雨明け宣言がされるという異例の年になっていますが、皆さん如何お過ごしでしょうか。共助会は去る6月29日に総会を開催して「令和3年度事業報告・収支決算書」を認定していただき、役員一同ホッとしているところです。

振り返ってみると、令和3年度は私たちの身の回りに実に沢山の出来事がありました。新型コロナウイルスのまん延、1年遅れのオリンピック・パラリンピック、ロシアによるウクライナへの侵攻などです。それぞれが共助会や加入者の皆さんに大きな影響を与えるものでした。しかし共助会は辛抱強く日々の仕事に邁進して来ました。くわしくは今号の記事をご参照いただきたいと思います。共助会は昨年度より約5億7千5百万円規模を拡大して令和3年度の業務を終了することができました。

しかし、新年度になってもまだまだ驚かされるが続いています。本当に今の日本でこんなことが起こるのかと思わせたのが、安倍元総理に対する銃撃事件でした。あまりに突然のことで言葉もありませんが、謹んでお悔やみを申し上げます。更に私たちの最も関心のある新型コロナウイルスについては新規の変異株が出現しているようで、第7波といわれる状況になっています。施設運営を主な業務とする社会福祉法人が安心出来るレベルになるのは一体いつのことでしょうか。

世界的な状況を見ると、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化しています。そのため、石油や小麦などの食料の値上がりが続き、世界的なインフレを生じさせました。インフレに対応するために各国は金利を上昇させましたので、日本との金利差が激しくなり、急激な円安が進んでいます。今年度の共助会の運営、特に資産運用に悪影響が及ばないかと心配しています。しかし、かねて申し上げている通り資産運用に短期的な損得勘定は禁物です。一喜一憂することなく、慎重な資産運用を目指して努力して参ります。

新年度、令和4年度は、共助会が更に進化するための助走期間の始まりと考えています。新しい社会福祉センターへの入居も決まっています。新しい環境の下で共助会のこれからを推進していかなければなりません。現在共助会は2万2千人以上の加入者の皆さんの将来をお預かりしています。皆さんの将来の安心を更に確かなものにするために我々役職員一同努力を続ける所存でありますので、今後とも皆さん方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



共助会会長 井上 峰夫

## ▶▶ 共助会からのお知らせ

新規加入者の方には「重要事項説明書」を配布して下さい。



最近、退職金についてのトラブルが見られます。

そこで、「重要事項説明書」を作成しましたので、新たに共助会に加入される方には、必ずご説明のうえ、ご理解いただくようお願いいたします。

また、ホームページからも共助会の情報をお知らせしていますので、ご利用下さい。

## 共助会事務局の移転

千葉県社会福祉センターの老朽化に伴い、新たな社会福祉センターを千葉県が主体となって整備しています。

新センターは、福祉関係団体相互の連携を図り、分野を超えたネットワーク構築のための拠点となります。

共助会は令和5年度に引っ越しする予定です(令和5年2月完成予定、4月入居開始)。場所は、現在地から建物2つ分隣りになります。新しくなった共助会事務局に是非、足をお運び下さい。



新事務局のイメージ

# 令和3年度事業報告

令和3年度はコロナに明けて、ウクライナに暮れた年度でした。

国内では多くの都道府県で「まん延防止措置」を実施する事態になりました。また、共助会はロシアによるウクライナ侵攻と日米の金利差による急激な円安というダブルパンチに見舞われてしまい、資産運用にも我々の生活にもその影響が出て来ています。以下、主な事業運営についてご報告申し上げます。

## 1. 加入者の拡大

令和3年度においては、18施設の加入がありました。新規加入者数は3,141名、退職者数は2,844名で、共助会加入者数の増加は297名に止まりました。令和3年度末現在は844施設、22,351名となっています。

## 2. 資産運用

ロシアによるウクライナ侵攻の直前に当時保有資産の中で利益率の一番高かった海外株式を全額売却して利益確定を図りました。株価の急下降の影響を少なくすることができたと考えています。年度末の充足率は96%を維持しています。

## 3. 変則的な総会の実施

社員総会については昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から極めて少数の方の参集のみに止め、加入者の皆様方には委任状の提出により議決にご参加いただくことを採用させていただきました。

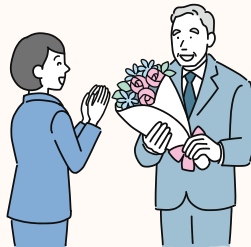
## 4. 生活資金貸付事業の見直し

共助会は事業開始以来皆さんからお預かりしている掛金を原資に生活資金貸付事業を行ってまいりました。ところが最近になって貸付金の返済が滞る事案が見られるようになりました。そこで、貸付金限度額の引き下げや返済方法を給与天引き（施設口座振替）にするなど慎重に事業の見直しを行いました。

### 公益目的事業

#### ◆退職共済事業

- 退職者 2,844名  
(うち、有給付2,225名、無給付619名)
- 退職一時金等支給額 2,026,084,561円
- 退職年金受給者 14名
- 退職年金支給額 7,611,112円



#### ◆福利厚生事業

##### (共助会)

- 生活資金の貸付 本年度内貸付59件  
52,200,000円
- 契約施設割引利用券の斡旋
- 会員交流事業企画を計画し、加入者とその家族を対象に斡旋しました。

#### (ソウェルクラブ千葉)

- 会員交流事業企画の斡旋  
劇団四季ミュージカル「アナと雪の女王」、「オペラ座の怪人」、大相撲観戦、温泉でメリークリスマス(熱海、石和)
- 新規加入勧奨  
未加入法人にご案内パンフレットや機関紙を発送しました。



#### ◆研修事業(コロナ禍につき中止)

#### ◆広報普及事業

- 機関紙「共助会ニュース」の発行 3回(各23,000部)
- ホームページを用いた情報開示  
共助会の実施する事業について理解を深めていただけるよう随時更新しました。

### 会員相互扶助等事業

#### ◆慶弔金の支給

加入者が結婚、出産(配偶者も含む)、死亡したときに支給しました。

- 結婚慶祝金 402件 8,040,000円
- 出産祝金 577件 5,770,000円
- 弔慰金 16件 800,000円



#### ◆長期在籍者顕彰事業の実施(式典および懇親会は中止)

令和3年度中に掛金納付期間25年の加入者151名を対象とし、顕彰状ならびに記念品を贈呈しました。

### 法人事業

#### ◆総会の開催(2回)

#### ◆理事会の開催(4回) ※うち、1回は書面決議

#### ◆監事会(監査)の開催(2回)

#### ◆会計監査人(SK東京監査法人)による外部監査の実施

#### ◆関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会(中止)

千葉県が当番県でしたが、コロナ禍により中止とし、関連団体からご提出いただいた協議題および共済制度実施状況への回答を取りまとめ、情報交換を行いました。

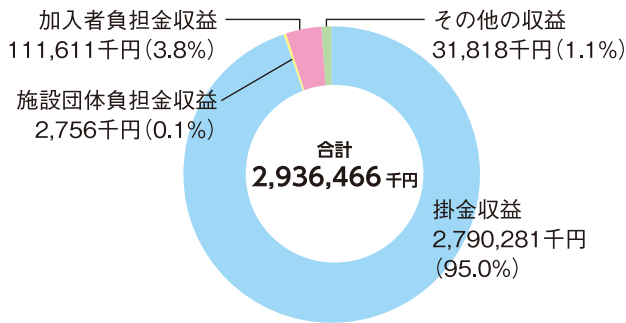


# 正味財産増減計算書

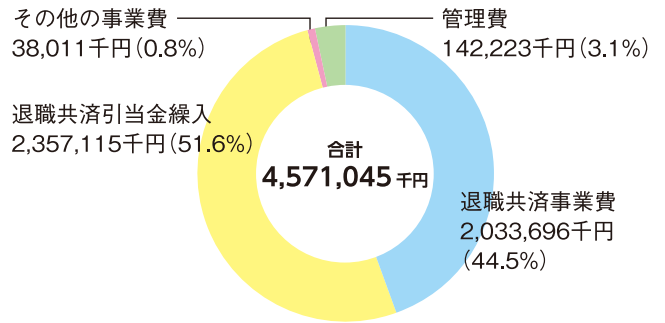
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:円)

会計区分	公益目的事業会計	会員相互扶助等事業会計	法人事業会計	合計
経常収益				
経常収益計	2,885,426,765	33,483,378	17,556,126	2,936,466,269
経常費用				
経常費用計	4,518,152,028	24,191,764	28,700,871	4,571,044,663
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,632,725,263	9,291,614	△ 11,144,745	△ 1,634,578,394
特定資産評価損益等	△ 106,248,755			△ 106,248,755
評価損益等計	△ 106,248,755			△ 106,248,755
当期経常増減額	△ 1,738,974,018	9,291,614	△ 11,144,745	△ 1,740,827,149
他会計振替額	6,539,131	△ 6,539,131		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,732,434,887	2,752,483	△ 11,144,745	△ 1,740,827,149
一般正味財産期首残高	2,552,336,647	△ 22,350,983	△ 642,086	2,529,343,578
一般正味財産期末残高	819,901,760	△ 19,598,500	△ 11,786,831	788,516,429
指定正味財産期首残高	200,000			200,000
指定正味財産期末残高	200,000			200,000
<b>正味財産期末残高</b>	<b>820,101,760</b>	<b>△ 19,598,500</b>	<b>△ 11,786,831</b>	<b>788,716,429</b>

## [経常収益]



## [経常費用]



# 貸借対照表

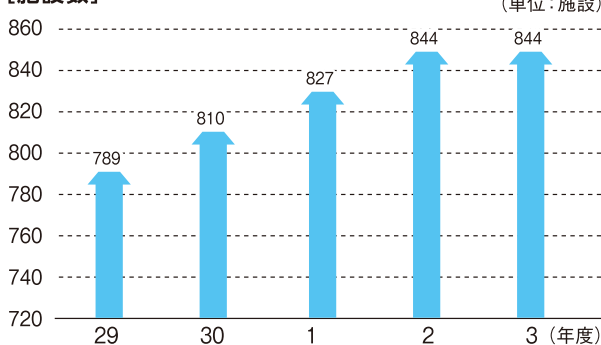
令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	科目名	金額
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	985,036,445	
貯蔵品	140,500	
前払費用	184,800	
1年以内回収予定長期貸付金	31,195,808	
<b>流動資産合計</b>	<b>1,016,557,553</b>	
固定資産		
基本財産	200,000	
退職共済引当資産	24,715,008,855	
退職給付引当資産	13,044,995	
共済事業未収金	227,941,540	
貸付資金引当資産	67,319,761	
福利厚生事業引当資産	1,083,950	
その他固定資産	131,698,424	
<b>固定資産合計</b>	<b>25,156,297,525</b>	
<b>資産合計</b>	<b>26,172,855,078</b>	

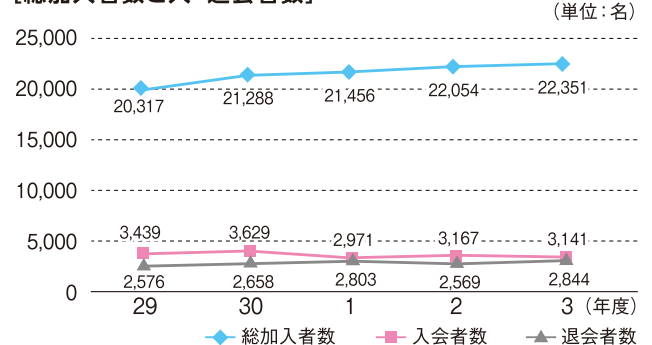
負債及び正味財産の部	科目名	金額
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	876,381,447	
未払費用	189,416	
預り金	104,230	
仮受金	198,683	
1年以内返済予定リース債務	1,106,422	
賞与引当金	1,713,787	
<b>流動負債合計</b>	<b>879,693,985</b>	
固定負債		
退職給付引当金	13,044,995	
退職共済引当金	24,488,168,485	
リース債務	3,231,184	
<b>固定負債合計</b>	<b>24,504,444,664</b>	
<b>正味財産の部</b>		
<b>正味財産合計</b>	<b>788,716,429</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>26,172,855,078</b>	

# 加入者状況の推移

## [施設数]



## [総加入者数と入・退会者数]



施設事業所数  
1万2千ヶ所超、  
会員約27万6千人

# 福利厚生

～ソウェルクラブのご案内～



福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、福利厚生事業を全国規模で共同化することにより、規模のメリットを最大限に活かした多種多様な福利厚生サービスを提供しています。

## よく利用されているサービス事業

### 生活習慣病予防健診費用助成

30歳以上の会員が生活習慣病予防健診を受診した場合に、検査項目に応じて助成します。

最大 4,000 円助成

### 健康生活用品給付

毎年、全会員に健康生活に関わる品物の中から希望する1品をお届けします。



### 各種講習会 (オンライン研修)

職員の資質向上に役立つ講習会へ参加可能です。

受講料、教材費は無料

### 結婚、出産お祝品贈呈

1万円分の商品券等

### 会員交流事業企画への参加 (応募多数の場合、抽選あり)

### 実施予定 ソウェルクラブ千葉と共助会の合同企画

1. 令和4年11月 劇団四季「美女と野獣」50名  
舞浜アンフィシアター

2. 令和4年12月 舞台「ハリーポッターと呪いの子」40名  
TBS赤坂ACTシアター



## 加入のメリット

- 福祉介護人材の確保・定着 (離職防止)
- 地域社会からの評価
- 魅力ある職場づくりの実現

心身のリフレッシュ、  
ストレスの解消

職場の良好な  
雰囲気づくり

コミュニケーションや  
チームワークの向上

定着性を高め、  
勤労意欲が向上

## 会員の種類及び年会費

**オススメ** 第1種会員 10,000円  
(どなたでも加入できます。全てのサービスが利用可能。)

第2種会員 5,000円  
(非常勤職員のみ加入できます。一部のサービスのみ利用可。)

「ソウェルクラブのことを聞きたい、知りたい。」お任せ下さい！  
貴施設へご説明に伺います。(リモート対応も可能です。)

0120-292-711  
社会福祉法人 福利厚生センター まで



福利厚生センター  
ホームページ



## 資産運用報告

### 令和4年5月末現在 資産運用状況

(単位:円)

資産	取得価額	時価	評価損益
国内債券	3,692,470,253	3,920,503,004	228,032,751
国内株式	129,458,124	259,045,541	129,587,417
外国債券	13,449,163,160	13,534,912,267	85,749,107
外国株式	799,968,262	771,512,500	△28,455,762
オルタナティブ	3,171,340,243	3,324,172,841	152,832,598
その他	3,601,303,261	3,601,095,969	△207,292
資産合計	24,843,703,303	25,411,242,122	567,538,819

時価総額 25,411,242,122  
要支給額 26,708,345,512

充足率 =  $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$

95%

前号でロシアによるウクライナ侵攻の影響についてお知らせしましたが、その後アメリカのインフレ対策としての金利上昇が原因となって急速に円安が進行しました。金利の上昇は即ち債券の値下がりにつながります。また、為替の動向も円の価値に係わることで、資産運用の注意事項です。年度末の2月、3月と立て続けに資産運用に大きな影響を与える出来事が続いてしまいました。共助会の資産運用が世界経済と直結していることを改めて実感しました。しかし、利益確定を行い資産の保全を図りましたので、年度末の充足率は96%を維持して決算報告を行いました。

残念ながら新年度、令和4年度になっても状況に変化はありませんでした。ウクライナ侵攻の長期化、アメリカの金利上昇と日銀の低金利政策の継続など今年度の資産運用は難しいことになりそうです。ご覧のように5月の充足率は95%になっています。3月末より少し下がりましたが、現在のところ大きな変化はなさそうです。

いつも申し上げている通り資産運用に一喜一憂は禁物です。現在のような時にこそ分散投資に努め、リスクを回避して資産の保全に努めてまいりますので、今後とも皆さん方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。